

## 5歳児健診モデル事業について

### 1 令和7年度 5歳児健診モデル事業の結果 (モデル園 15園：私立11園、公立4園)

年中児	アンケート 回答者	受診者	専門相談会	
			対象者	出席者
309/1,785	284 (91.9)	260 (84.1)	117 (45.0)	28 (23.9)

単位：人 (%)

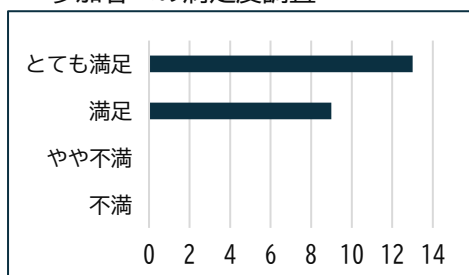
### 2 専門相談会の結果 (11月26日、12月23日、1月19日)

単位：人

対象者	うち ※ 気がかり児	出席者	うち ※ 気がかり児	結 果					
				異常なし	園 フォロー	保健師 フォロー	ことばの 教室	医療機関	治療中
117	92	28	25	2	7	13	1	1	4

※気がかり児：保育記録等から気がかりさを把握した児

&lt;参加者への満足度調査&gt; n=22



- ・専門相談会から医療機関につなげるケースは少なく、ほとんどが経過観察（園・保健師フォロー）となった。
- ・経過観察となったケースには、就学相談会や移行支援など、就学までのサポート体制のに関する情報を提供する有意義な機会となった。
- ・すでに医療に繋がっている場合でも、就学までのサポート体制等、就学に向けて不安を抱えているケースがみられた。
- ・心理相談員、言語聴覚士、教員などから、就学までに家庭でできる準備や子育てについての助言を得ることで、参加者の満足度は高かった。

### 3 課題

- ・標準化されたアンケートからの抽出が必要
- ・園医方式は、園や園医の負担が大きく見直しが必要
- ・専門相談対象者の参加が少なく、確実に相談につながる方法の検討が必要
- ・生活習慣に課題をもつ児が多く、早期からの啓発が必要

### 4 次年度の方向性

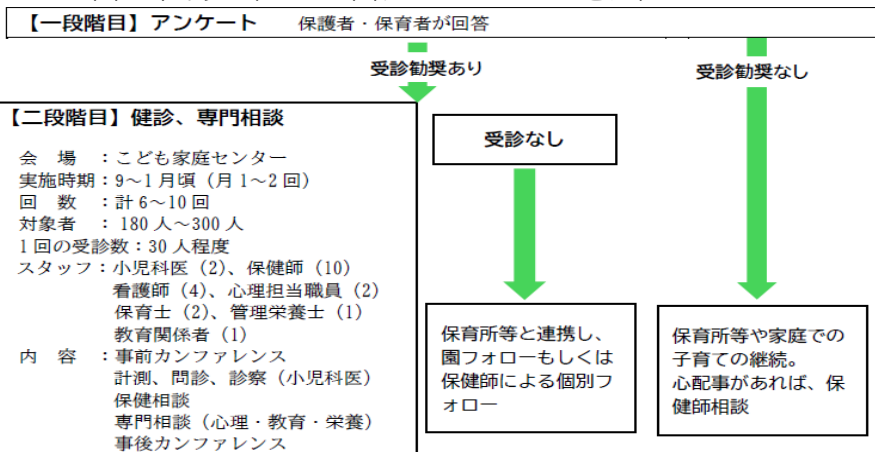
#### (1) 実施方式

5歳児健診 二段階方式

#### (2) 対象者

モデル園の年中児 (30～50園、600～950人と想定)

#### (3) 実施の流れ



### 5 5歳児健診後におけるフォローアップ体制（案）について

#### (1) 関係機関との連携強化

- ・5歳児健診専門相談会の対象児について、保護者同意のもと、教育委員会に情報提供
- ・児童発達支援センター「地域障害児支援体制強化事業」との連携
- ・園へ健診結果の提供と連携した支援（支援の方向性、園での具体的な支援内容を共有）
- ・こども家庭センター分室及び児童家庭支援センターと連携した子育て支援

#### (2) 児・保護者支援

- ・スマホ等の使用を含めた生活習慣について、早期から周知・啓発
- ・年中児向け講演会のアーカイブ配信
- ・園へのカウンセラーの配置（5歳児対応）
- ・保護者のペアレント・プログラムへの参加勧奨

#### (3) 支援者のスキル向上

- ・保健師のスキル向上のための研修実施